



**2021-2022年度主題**  
 国際会長 キム・サンチエ(KR)  
 “Heal the World with Love and Dignity”  
 アジア太平洋地域会長 大野 勉 (JP/神戸ポートクラブ)  
 “Think for the next generation”  
 東日本区理事 大久保知宏 (宇都宮クラブ)  
 「100年を超えて変革しよう」  
 湘南・沖縄部長 若木 一美 (横浜とつかクラブ)  
 「咲かそう 人の輪」  
 クラブ会長 辻 剛  
 「弱者に寄り添う愛と奉仕の実践」  
 スローガン：「生涯現役」で楽しいクラブライフを！

**2021-2022 クラブ役員**

会長 辻 剛  
 副会長 林 茂博  
 書記 鈴木 茂  
 会計 横田 孝久

**今月の聖句**

「人よ、何が善であり／主が何をお前に求めておられるかは／お前に告げられている。正義を行い、慈しみを愛し／へりくだって神と共に歩むこと、これである。」

ミカ書6・8

**3月本例会**

日時 3月25日 (金) 17:00～  
 場所 かけはし都筑  
 司会 鈴木恭子 受付 鈴木 茂

=プログラム=

- 1) 開会点鐘 会長
- 2) ワイズソング・ワイズの信条
- 3) 今月の聖句・祈祷  
相賀チャプレン
- 4) 会長挨拶 会長
- 5) 卓話： 林 茂博
- 【2022-23年度会長研修会報告】
- 6) 各種報告・連絡
- 7) YMCA報告
- 8) Happy Birthday  
3/22 相賀 昇  
3/31 辻 孝子
- 9) アピール
- 10) 閉会点鐘 会長

**《巻頭メッセージ》**

辻 孝子

**「老老老 介護」**

**最** 初の「老」は、もうすぐ83歳になる私です。背中と足の痛みで悩まされています。

そんな私が面倒を見ているのが次の「老」の主人、83歳です。透析を始めてからは、体調が不安定なので、心配でどこへ行くにもついて行っています。また食事も大変です。好き嫌いも多く野菜を食べてくれないので苦労しています。

また、主人の行動で気になる事は沢山ありますが我慢我慢です。例えば水道の締め忘れとか、ゴミの出し方等々です。紙のところにプラが混じっていたりその逆もあります。私が気がつけば黙って水道は止め、ゴミは分別しておきますが、娘が気がつくトイレの手洗いの所に「しっかり閉める」の紙を貼られています。ゴミの分別では常に怒られています。そして最後の「老」は愛犬パピーです。2003年生まれで5月に19歳になります。以前この巻頭言で元気に走り回っていた頃のパピーを紹介したことがありますが、今は目が全然見えません。また心臓も悪いです。朝夕2回の心臓のオクスリと一日数回の2種類の目薬が必要です。一日中ほとんど寝ていますが夕飯の2時間ほど前には台所をウロウロして待っています。そして一番大変なのはトイレです。一日何回もベランダに出すのですが（今や我が家のベランダはパピーちゃんのトイレと化しています）タイミングがうまくいかず、リビングでオシッコやウンコをしてしまいます。その後始末が大変です。それを毎日何回も繰り返しています。そんなパピーですがどんなに世話が大変でも一日でも永く生きてほしいと願う親心です。「20歳までガンバレ、パピー！」

(完)



※2月のデータ

	例会出席	12名	在籍会員数	16名	各種記録	1月実績	年度累計
	メンバー	0名	月間出席者数	12名	スマイル	0	13,000円
	ビジター	0名	メ・キャップ	1名	—	—	—
	ゲスト	0名	月間出席率	81.0%	—	—	—



## 《例会報告》

## 2022年2月本例会

坂口直樹 記

1. 日時：2022年2月25日（金）17.:15～19:00

2. 開催方式：ZOOM会議

3. 出席者：

今城H・T、岡田、鴨下、坂口、鈴木K・S、  
辻Ta・Ts、福島、林、横田（計12名）

4. 開会

◇ZOOMの接続不備で、若干遅れて鴨下さんの司会により、辻会長の開会点鐘で開会。

◇相賀チャプレンによる聖書朗読と祈祷。聖書箇所は、マルコによる福音書4章30-32節

◇辻会長が挨拶し、ロシアのウクライナ侵攻は多くの犠牲者を生じさせ、また、世界中に様々な苦難をもたらすもので、早期終息を希望する。コロナの終息見通しが無いがコロナに負けぬよう活動に励もう、と発言。

5. 卓話

卓話者：横浜YMCA健康教育部 森山真治さん

演題：スポーツ指導の現状と課題

◇少年時代には選手として野球に親しみ、途中怪我のため選手としての道は断念するが指導者（少年野球）の道へ。大学終了後企業に就職するが、青少年のスポーツ指導の道に進みたくYMCAに入職。

◇「スポーツ」とは、ラテン語の原語の通り、「遊ぶ」、「楽しむ」ことが基本。ルールに則って楽しく遊ぶことが必須。

◇少年のスポーツ参加は、相対的に右肩上がり。特に野球にその傾向が強い。サッカーは安定している。

◇青少年に対するスポーツ指導の状況は、昔に比べると大きく変化しており、「体罰」等は完全に否定されており、参加者（青少年）の自主性に委ねるチームすらある。

◇卓話の後には、メンバーから質問、意見等が述べられた。

6. 協議・確認事項

①今年度の東日本区大会に関するアンケート

6月4-5日に宇都宮で開催予定の区大会について、会長宛にアンケートの要請があった。大会はリアルで、参加者を新旧役員と代議員（計約130名）に絞る

という案に対する意見が求められている。

辻会長は、少数の参加者を更に少人数の分科会に分けて議論をするのではなく、参加者全員が一堂に会して「楽しく」これからのワイズについて語らう場にしては如何、とコメントしたいとのこと。ほぼ全員が会長の提案を支持した。

②第93回Y-Y's協議会がオンライン方式で3月1日に開催される。当クラブより、辻会長、鈴木書記、今城Tが参加の予定。

③3月本例会は卓話者が未定ですが、林ワイズに「次期会長研修会」の様子などを報告して頂くこととした。

④メネット委員会への献金について、委員会が行う保育施設への絵本配賦を支援する献金として1万円を拠出する件、全員が了承した。

7. アピール・報告等

●辻会長宛に社協より送付されているボランティアセンター広報誌他の資料をデータ化して各メンバーに展開する。

●3月5日予定の都筑区社協災害ボラセミナーは、特にマンションの災害防止に焦点を当てた内容とのこと。希望者は参加自由。

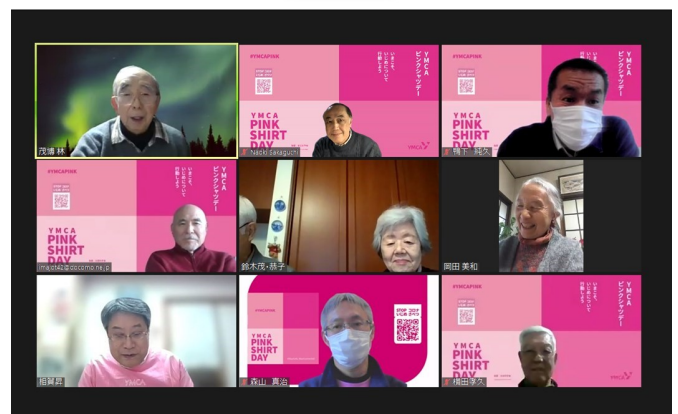
8. YMCA報告

●コロナの第6波は幼児の感染が顕著なことから、Yのクラスや運営する保育園の閉鎖が増えている

●春のキャンプは実施の方向で募集を開始しており、今後の感染拡大の推移を見極めて判断する

●5月に北Y、つづきクラブ、つるみクラブの交流会を予定通り行う方向で場所を確保する。1週間前のキャンセル可。

9. 閉会点鐘



《会議報告》 第93回YMCA-Y's協議会

書記 鈴木 茂 記

開催日時：2022年3月1日（火）19:00-20:00  
 会場：Zoomによるオンライン会議  
 担当クラブ：厚木クラブ  
 出席者：16名（当クラブからの参加者：辻会長、  
 鴨下担当主事、今城T、鈴木S）

◇横浜YMCA・佐竹総主事挨拶

ロシアによるウクライナ戦火は、平和を目指す世界のYMCAにとって大きな脅威であり、痛みである。世界のYMCAは、ゴン・サンヴィー・世界YMCA同盟総主事の名義で、外交的な解決策により、武力紛争が一刻も早く終結することを強く願う旨の声明を出した。YMCAとワイズメンズクラブは、これからも世界の平和と地域の人びとの幸せのために、手を携えて協力して行きたい。

2. 湘南・沖縄部 小松仲史次期部長挨拶

ワイズメンズクラブの第一の目的は、YMCAに協力しその活動を支えることにある。その意味で、このYMCA-Y's協議会は大変意義深いと思う。次期湘南・沖縄部 部長として、微力ながらワイズメンズクラブとYMCAの協働と発展のために尽くしたい。

3. 協議 司会：厚木クラブ・佐藤節子会長

1) 国際・地域協力募金について

阿部正伴・部担当主事より、横浜YMCA・2021年度の国際・地域協力募金の状況について説明があり、例年1,200万円の目標設定に対し、今年度は700万円の設定に抑えたが、それでもコロナの影響でバザーの開催や街頭募金が中止になったことなどで苦戦している。他方で寄附・献金の対象先としては、①ミャンマーの戦乱に苦しむ子供たちへの緊急支援、②長期の戦乱に疲弊したカンボジアの子どもたちへの自立支援、③人身売買の危険のあるタイ少数民族少女の救済支援など、依然としてニーズが高いとして、

一層の募金への協力要請があった。特に質疑応答はなかったが、本件協力募金の重要性を出席者一同改めて確認した。

2) 報告

① 横浜YMCA

阿部正伴・部担当主事より、去る2月11日（建国記念の日）にZoomによるオンライン方式で開催されたピースフォーラムについて報告があった。200名ほどの参加者があり、神奈川県ユニセフ協会事務局長 関山万里子氏による「世界の子どもたちは、いま」と題する基調講演、分かち合いの時、YMCA活動紹介等のプログラムに対するアンケートでは、90%以上の「満足評価」を得ており、好評であった。

② 各クラブ

- \* 横浜：3月例会ではコロナで苦戦している横浜YMCA・専門学校の担当職員の卓話を聞いた。
- \* 鎌倉：NHK大河ドラマに因んで、2月例会は鎌倉ガイド協会の人を卓話者として招いた。
- \* とつか：1・2月はコロナのため、例会は休会とした。
- \* 金沢八景：八景YMCAの職員を招き、5分間スピーチという形で例会の卓話を行なっている。
- \* つづき：1月の例会は前半はクラブ総会、後半は11年目を迎える東日本大震災を覚えて、石巻広域クラブとの合同例会を持った。2月例会では、「スポーツ指導の現状と課題」と題する森山真治さんの卓話があった。
- \* つるみ：3月10日の例会で、新入会員の入会式を行う予定。
- \* 厚木：3月例会では、相模人形浄瑠璃の伝統芸能保存に関する卓話を予定。

★次回予定：2022年6月7日（火）

19:00-20:30

以上

懐かしのアルバム

2017年11月のクラブ恒例東日本震災被災地訪問

写真左は、山元町の「つばめの杜保育所」を訪問し園児たちと楽しい時を過ごした時のもの。写真右は、同じ日に伺った高齢者施設「みやま荘」で一緒に歌ったり手遊びをして入居者の皆さんと楽しいひと時を過ごした時のものです。



## 《事務例会報告》

## 2022年3月度事務例会

書記 鈴木 茂 記

日時：2022年3月8日（火）17:00～18:30

場所：Zoom方式

出席者：今城H・T、岡田、鴨下、鈴木K・S、  
辻Ta・Tu、林、福島、横田（合計11名）

## 【議事次第】

## 1) 会長挨拶

- ウクライナの戦火には、皆さんと共に心を痛めている。しかし、人間が始めたことは必ず止めることができる。ウクライナでの戦乱が1日も早く終結することを祈りたい。
- クラブの運営に関して、これまでも今後とも、提案するクラブ活性化のための具体的な活動計画は、昨年7月のクラブ総会で承認された活動方針に基づいているので、ご理解とご協力をお願いしたいとの要請があった。

## 2) 協議事項

「つばめの杜保育所」及び「みやま荘」への取組みの件

- 標記の件に関し社会長から、次の2点について検討したいとの提案があった。

①保育所&みやま荘共通案件：東日本大震災11年目を迎える今年の3.11を記念して、何かプロジェクトを実施してはどうか。

⇒これまで訪問した時の写真をA4用紙に貼り、これにコメント・メッセージを加え、記念品として贈る（できれば、額縁に入れる）ことを決定。

②保育所案件：3.11とは別に、「リトミック教室」、「絵本の読み聞かせ会」などを実施してはどうか。

⇒TKBで「進級・入園おめでとうカード」を作成して贈るという案も出された。この案も含め、先方の作間所長と相談のうえ実施案を検討することを確認。

ウクライナ支援募金の件

今般のロシアによるウクライナ侵攻に対処して、ワイズ・東日本区と日本YMCA同盟の双方から、緊急のウクライナ支援募金の要請が来ている。社会長から、クラブとしての対応を協議したいと提案があった。

- \* 協議の結果、当クラブとして、双方に各10,000円あて献金することを決定。なお、個人としても極力

募金に協力すること、ならびに次回対面例会の際に、ウクライナ支援を覚えて「スマイル献金」を行なうことを確認。

## 3) 報告・確認・アピール等

## ①クラブ

- \* 林副会長：2022年度に向けてボランティア保険を更新する。今回はコロナも含めた契約としたい。
- \* 福島・社協担当：都筑社協の3月諸プログラムがコロナで中止となった。

## ② 湘南・沖縄部

- \* 社会長：2/28に第5回部エクステンション委員会開催。二つの新クラブ設立構想、「子どもと一緒に絵本を楽しむ会」「つながりマスク」の二つのプロジェクトが、コロナで遅れ気味ながらも徐々に進んでいる。

## ③ 東日本区

- \* 社会長：ワイズ・ナイトフォーラム第4回・2/26（土）開催、参加者71名、卓話者・山田公平次々期理事、パネルディスカッション担当・あずさ部、第5回・4/16（土）、卓話者・江夏一彰牧師・医師（東京武蔵野多摩）、パネルディスカッション担当・北東部、第6回・6/25（土）、詳細未定。

## ④YMCA

- \* 鴨下館長：3/4（金）チャリティーゴルフを戸塚CC.にて開催、参加者103名。5/27（金）開催予定のつづきクラブ・北YMCA合同例会・懇親会に、北Yの運営委員会のメンバー（つづきのメンバー以外では4-5名）にも参加を勧めたい。

## 4) アピール

- \* 今城H：3/22（火）のココの集い（映画鑑賞）は、コロナのため中止の可能性あり。

## 5) 行事予定

- ・3/25（金）：本例会・17:00、Zoom or ハイブリッド。
- ・4/12（火）：事務例会・17:00。
- ・4/16（土）：ワイズ・ナイトフォーラム・20:00～。
- ・4/22（金）：本例会・17:00、卓話・堤ひろみさん。

## 6) 閉会点鐘。

(以上)

## 《連載寄稿》

## 恥ずかしのワイン蘊蓄 ～6～

横田 孝久

さて、山梨（甲府）へのつづきY'sの移動例会の話で仙洞田さん（甲府クラブ）の紹介をしました。が、ワイナリーから移動の時、甲府21クラブの駒田勝彦会長より紅白ワインを差し入れ頂きました。これは、横浜への帰路の際バス中で飲みましたが、ワインの名前やワイナリーなどすべて記憶に無く、説明が出来なく今になって後悔します。その後サントリーさんの「登美の丘ワイナリー」へ向かい見学、試飲など楽しみました。

俳人蓮之（れんし）が「勝沼や馬子も葡萄を喰ひながら」と詠んでいます。

中央線で塩尻の駅近くに醸造所があったりして、このあたりでも多く造られています。小生の印象に残っているワインは（株）アルプスのいわゆるニューボーワインです。特にすき焼きなど肉料理にはピッタリでした。現役の頃に軽井沢の山荘ではオリジナルのエlegant（ラベル）でプライベートワインを提供していました。

全国に広がったワインは小生は知識と経験がほとんどありません、その中で記憶にあるのを二三紹介して日本ワイン旅は終了します。

一つは新潟の角田山の裾野に数軒のワイナリーがあって「新潟ワインコースト」と呼ばれる産地があります。ここの「カーブドッチワイナリー」が最初に創業したと聞いています。「アルバリーニョ」です、洋ナシや中国茶（ジャスミン）のアロ

マを感じる本当にうまいワインでした。そして、富山に入ると「やまふじぶどう園」後に「ホーライサンワイナリー」。マスカットベリーを使ったワインで確か「いごごち・・・」という軽やかな赤ワインだった。さらに氷見という町にもワイナリーがあると言われたのですが行けずでした。「セイズファーム」という名で最近では急速に国内でも注目されているようです。機会があれば飲んでみたいと思っています。

さて、次なるワインは関西は大阪の南東で俗に河内に位置する羽曳野です。奈良県との県境で特に生食用でデラウエアを中心に日本一の面積だったところ。現在では5軒のワイナリーがあるのですがその中で「カタシモワイナリー」は大正時代から醸造されたようです。ワイナリーからは大阪の都市を眺める事が出来る場所で最近ではベッドタウン化していますが、こだわりのワインが造られています。風景と大阪のワインを守りたいとの一心でがんばっておられるそうです。海外からの使節団からクレージーと言われたそうですが、「クレージーとかアホちゃうか？は最高の誉め言葉やね」と言われているそうです。本当に甲州種やメルロ・サンジョベーゼなど欧州系にも盛んに挑戦されていて頭が下がります。ガチガチの関西弁（大阪河内）で会話をしながらのワインもある意味では本当に美味しく楽しいワインです。ほんまにうまいんでっせ。

(2022.1)



## 《トピックス》

今年も3月11日がやってきました。

東日本大震災発生の2006年から11年が経過します。その年は、2006年5月にチャーターした私たちのクラブにとって、ちょうど5周年を迎えた年でした。5周年記念行事を模索していた私たちは、東日本の被災地支援を行おうと思い立ちました。メンバーで当時東日本区事務所長の林茂博ワイズが、震災直後から被災地に支援物資を届ける事業を立ち上げ取り組んでいたことが私達の支援活動を後押ししたことも事実です。私たちは、被災地の仙台クラブと仙台YMCAに、何処で何をすべきかご相談をしました。そこでご紹介いただいたのが、津波の被害が甚大であった亘理郡山元町の高齢者施設「みやま荘」と「つばめの杜保育所」の2施設で、以降、年に1・2回両施設を訪問し、様々なプログラムで暫しの時をご一緒に過ごしてきました。しかしながらコロナ禍により、これら施設をお訪ねすることもできず、毎月お誕生日カードをお贈りすることなどで繋がりを保ってきました。11年目の今、依然としてリアルな交流は叶いませんが、私達が被災地の皆さんのことを忘れていないことの証として、訪問していた時に皆さんと共に過ごした時の写真を大きく引き伸ばして額に入れて両施設にお送りしました。コロナ禍が去り、また、お訪ねして親しくお交わりが出来る日が来ることを心より願いつつ。

(T.I. 記)

